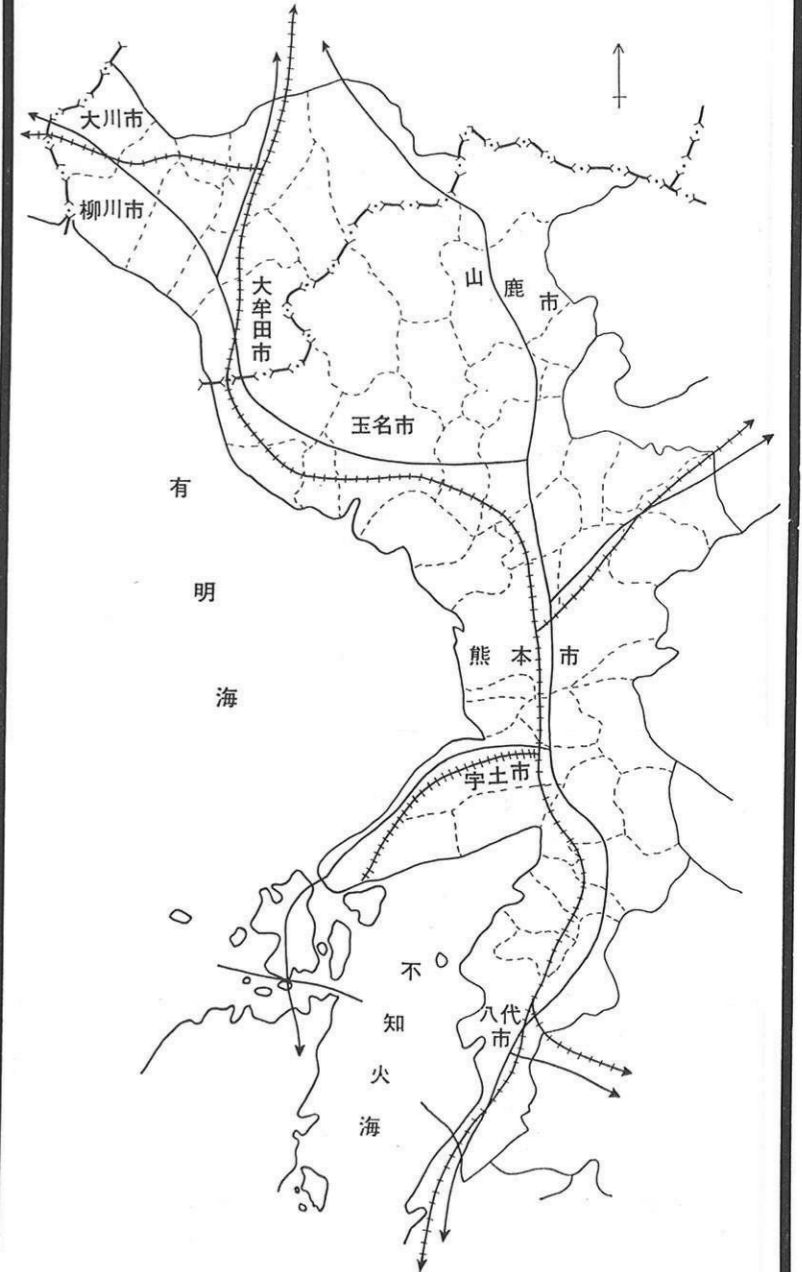


「不知火・有明・大牟田地区」

新産業都市区域略図



を確保する。

**■工場用地**  
工業開発の目標を達成するために必要な工場用地を確保するため、八代、荒尾、長洲地先の臨海部と内陸部の適地

**施設の整備**

(4)熊本市は行政、文教、経済流通等の中核となるような都市機能を充実させるため、とくにその土地利用に留意する。  
(5)地区の特性をいかした農林、漁業の振興をはかるため必要な用地および水面

宇土周辺を中心とする内陸適地は、八代、有明両地区の関連企業、機械工業、都市型産業等を育成するための用地とし、できるだけまとまった利用を計画する。  
(2)住宅団地は、主として交通の便利な環境のよい背後の丘陵地に配置する。  
(3)有明地区の小岱山、熊本地区の金峯山および大矢野島周辺などすぐれた自然景観の保存、並びに山鹿、玉名の観光

その他の区域については、農地および自然景観の保全に努め、また、市街地の無秩序な発展を防止するため生産緑地および施設緑地の配置を計画する。  
具体的な土地利用の構想としてはおおむね次のことが考えられる。  
(1)八代および有明地区の臨海埋立計画地および隣接地は、主として重化学工業用地とし、その背後内陸適地は、下請関連企業等の用地として、また熊本、

に工場用地を造成整備する。

**■住宅および住宅用地**

将来の人口の増加、世帯の分離、住宅の老朽化等を考慮し、また開発の度合に適合した宅地開発および住宅建設を行なう。

**■工業用水道**

工業開発の目標を達成するために必要な工業用水を確保するため、菊池川、球磨川、緑川等を水源とする工業用水道を整備する。

**■道路、鉄道**

道路—輸送量の増大に伴う地区内外の道路網整備。  
一級国道三号線、五七号線  
二級国道各路線、域内連絡道路、街路等  
九州縦貫自動車道  
鉄道—輸送量増大に伴う鉄道輸送力増強とスピードアップ  
鹿児島本線の一貫複線化と電化  
八代、荒尾、長洲等主要駅の改良、操車場の整備、臨港鉄道の建設  
港湾—臨海工業地帯建設に伴う総合的な改修整備  
八代、長洲、荒尾各港の修築、三角港その他の港湾の整備

**建設事業の具体化へ**

**■水道および下水道**

将来の人口増加および生活水準の向上に伴い増大する需要量に適合するよう下水道の整備を図るとともに、市街地および住宅団地の都市排水など下水道の整備を図る。  
なお、公害を防止するため、工場排水の処理について十分配慮する。

**■その他**

水道用水、工業用水ならびに農業用水の供給を円滑に行なうために球磨川、緑川、菊池川等の河川総合開発事業を推進

し、水資源の開発を図る。  
総合的な都市機能を充実させるため、産業立地条件の整備とともに、通信施設、職業訓練施設等の整備を図る。

**新産業都市建設協議会**

新産業都市の建設基本計画等について調査審議する新産業都市建設協議会については、本地区は二県にまたがっているため、両県でこの協議会を共同設置することとし、「不知火・有明・大牟田地区新産業都市建設協議会」として、指定

日から発足した。

協議会の会長については、両県知事協議の結果、会長には熊本県知事が、副会長には、鶴崎福岡県知事があたることになり、組織運営については、協議会に第一部会（熊本県側）、第二部会（福岡県側）を置き、それぞれの県の区域に関する事項について調査審議するとともに、小委員会を設けて、大牟田、荒尾地区に関する事項で調整を要するものについて調査審議することになっている。  
委員の任期は二年で、委員の構成は次のとおり。

一号委員（区域を管轄する政府機関代表—財務局長など） 七人

二号委員（関係市町村長） 四十九人

三号委員（会長である知事が任命する学識経験者—商工業、農漁業、大学関係など） 六十二人

計 百十八人

この協議会は、今後不知火・有明・大牟田地区建設の青写真である建設基本計画の作成およびその建設促進に関する重要事項について調査審議する機関であるが、全国十三地区の中で唯一の二県にまたがる地区であるので、両県の調整が円滑に行なわれ、県民の願いをこめた立派な計画が樹立され、その促進が図られるよう期待されている。

この夏を元気でのりきるために……

- わかりきっていることですが、飲み物に気をつけましょう。そして栄養を十分にとりましょう。
- 夏の伝染病を運ぶハエや蚊を退治しましょう。

(6.21—7.20) 夏の健康をまもる運動